



重文 齒染具足 徳川家康所用

目 次

博物館のあゆみ

平成22年度	3
平成23年度	9
平成24年度(但し4月～12月)	15

博物館のあゆみ

平成 22 年度

館 内 業 務

1. 平常展

○会期=平成22年4月1日～9月30日

「徳川将軍家の遺宝」展と題し、館蔵の徳川歴代将軍の遺品を適宜展示替えし、(財)徳川記念財団の優品を、書画を中心に加え展示。

○会期=平成22年10月1日～平成23年3月31日

「徳川将軍家の文化財」展と題し、館蔵の優品に(財)徳川記念財団の蔵品を加え展示。適宜展示替え。

2. 刀剣の調査

○平成22年8月20日、佐野美術館の依頼により館蔵の刀剣の一部を調査。調査員 渡辺妙子氏(佐野美術館長)・広井雄一氏(元文化庁美工調査官)・伊藤公久氏(早大教授)・赤沼英男氏(岩手県立博物館学芸員)・中村麻紀氏(佐野美術館学芸員)。

3. 館報第21号の発行

○平成22年10月17日、平成20・21年度の博物館のあゆみを報告する「館報第21号」を発行し、関係諸機関に配布。

館 外 業 務

1. 資料の出品

○特別展「江戸を開いた天下人 徳川家康の遺愛品」

会期・平成22年4月14日～6月20日

会場・三井記念美術館

重文太刀三池・脇指行光・貞宗・菌朶具足・洋時計・鉛筆・目器、東照大権現像等55件を出品。

○「初代県知事関口隆吉」展

会期・平成22年5月22日～7月4日

会場・常葉美術館

徳川慶喜・家達像、関口隆吉像を出品。

○特別展「戦国大名とナンバー2」

会期・平成22年5月29日～7月19日

会場・米沢市上杉博物館

東照大権像・鎗長吉・薙刀国宗・太刀三池(写)・脇指重国・大極旗・落合左平次背旗図・夏の陣図を出品。

- 「徳川御三卿」展
会期・平成22年10月5日～11月14日
会場・江戸東京博物館
紺絲威鎧（徳川吉宗所用）を出品。
- 特別展「知恵伊豆信綱―松平信綱と川越藩政―」
会期・平成22年10月9日～11月14日
会場・川越市立博物館
紺絲素懸威具足（徳川家光所用）を出品。
- 「徳川家光公と静岡」展
会期・平成22年10月9日～11月28日
会場・静岡市文化財資料館
徳川家光筆和歌懷紙・枯木杢図を出品。
- 「よみがえる関ヶ原合戦―関ヶ原合戦図を読む―」展
会期・平成22年10月29日～11月30日
会場・彦根城博物館
大極旗を出品。
- 「家康と慶喜―徳川家と静岡」展
会期・平成22年12月11日～平成23年1月30日
会場・静岡市美術館
重文金陀美具足・脇指貞宗・火縄銃等 39 件を出品。
- NHK大河ドラマ 特別展「江―姫たちの戦国―」
会期・平成23年1月2日～2月20日
会場・江戸東京博物館
茶絲威具足（徳川秀忠所用）・薙刀国宗（朝日姫所用）を出品。
- 2. 静岡県博物館協会総会
期日・平成22年5月28日
会場・静岡県立美術館
平成22年度総会が開催され、落合館長、小林学芸部長が出席。
- 3. 静岡市新美術館企画展会議
期日・平成22年6月2日
会場・静岡市美術館
第4回会議が開催され、小林学芸部長が出席。
- 4. 「戦国の覇者徳川家康と浜松」展企画会議
期日・平成22年12月27日及平成23年1月25日・2月21日・3月16日
会場・東京(財)徳川記念財団事務所・浜松市美術館（3月16日のみ）
浜松市制 100 周年記念展の企画会議が開催され、小林学芸部長が出席。

庶務報告

1. 平成22年度入館者状況

区分 月	大人	小人	団体	ロープウェイ と共通	クーポン	無料	計
4月	2,579	199	773	809	79	10	4,449
5月	3,686	362	1,549	1,069	115	13	6,794
6月	1,695	59	573	508	43	17	2,895
7月	1,433	93	806	592	34	4	2,962
8月	2,669	484	729	1,039	43	29	4,993
9月	2,045	105	1,500	754	44	8	4,456
10月	4,003	218	1,908	1,213	20	22	7,384
11月	6,239	318	1,931	2,073	56	17	10,634
12月	2,863	209	983	815	10	16	4,896
1月	7,675	730	1,711	2,754	16	82	12,968
2月	4,234	220	2,105	2,058	14	37	8,668
3月	2,519	252	1,593	1,119	10	5	5,498
計	41,640	3,249	16,161	14,803	484	260	76,597

2. その他

- 4月5日～7日、三井記念美術館学芸課長清水実氏が出品資料の搬出に来館。
- 4月10日～11日、特別展「江戸を開いた天下人徳川家康の遺愛品」の飾付けに小林学芸部長が三井記念美術館へ出向。
- 4月13日、上記特別展の開催式に落合館長・小林学芸部長が出席。
- 5月1日、静岡市美術館の開館式に落合館長が出席。
- 5月5日、子供の日にあたり、父兄同伴の子供を無料とした。
- 5月13日、常葉美術館学芸員大村智基氏が出品資料の搬出に来館。
- 5月19日、徳川記念財団原田知佳氏が展示替えに来館。
- 5月20日、米沢市上杉博物館学芸員角屋由美子氏が出品資料の搬出に来館。
- 5月22日、特別展講座（於三井記念美術館）を斎藤学芸員が受講。
- 6月6日及8月4日、静岡市美術館学芸係長吉田恵理氏が親子教室の参加者を引率し来館。
- 6月9日、小林学芸部長が重文洋時計の件で文化庁へ出向。
- 6月18日、7月6日及12月15日、能美防災が館内を点検。
- 6月22日、特別展「江戸を開いた天下人徳川家康の遺愛品」の資料撤収に小林学芸部長が三井記念美術館へ出向。
- 6月23日～24日、三井記念美術館学芸課長清水実氏が出品資料の返却に来館。

- 6月24日、空調機を修理。
- 7月9日、常葉美術館学芸員大村智基氏が出品資料の返却に来館。
- 7月16日、(財)徳川記念財団夏目琢史氏が展示替えに来館。
- 7月25日、タレント山浦ひさし・奈美悦子・熊田曜子の三氏が、テレビ番組で来館。
- 7月28日、米沢市上杉博物館学芸員角屋由美子氏が出品資料の返却に来館。
- 7月29日、東海テレビ(ディレクター竹内康真氏)が重文目器と白檀塗具足を撮影。
- 8月25日、館報作成のため、小林学芸部長が艸藝社へ出向。
- 9月2日、(財)徳川記念財団学芸部長柳田直美氏が展示替えに来館。
- 9月5日、彦根城博物館学芸員野田浩子氏が資料の出品依頼に来館。
- 9月13日、行田市郷土資料館学芸員鈴木紀三男氏が資料の出品依頼に来館。
- 9月18日～20日、閉館を午後5時30分とする。
- 9月23日、(財)徳川記念財団学芸部長柳田直美氏・江戸東京博物館学芸員大橋菜都子氏が出品資料の搬出に来館。
- 9月29日、静岡市文化財資料館長若杉守氏が出品資料の搬出に来館。
- 10月1日、徳川美術館開館75周年記念式典に小林学芸部長が出席。
- 10月3日、登呂博物館リニューアルオープンの開催式に落合館長・小林学芸部長が出席。
- 10月10日、江戸東京博物館学芸員斎藤慎一氏・NHKプロモーション展博事業部副部長古村航太氏が資料の出品依頼に来館。
- 10月12日～13日、静岡新聞社記者鈴木誠士・鈴木文之両氏が取材に来館(尚、鈴木誠士氏は19日にも来館)。
- 10月18日、静岡市文化財審議会の清見寺文書調査のため、小林学芸部長が同寺へ出向。
- 10月20日、彦根城博物館学芸員野田浩子・奥田晶子両氏が出品資料の搬出に来館。
- 10月21日、(株)ドリームウェーブ静岡放送部ディレクター鈴木啓太氏が取材に来館。
- 10月26日、静岡市美術館学芸係長吉田恵理氏が当館にて保管の(財)徳川記念財団の蔵品の撮影に来館。
- 10月28日、監視カメラ・リモコン等を修理。
- 11月1日(於 静岡市役所)及び12月19日(於 清見寺)、静岡市文化財審議会に小林学芸部長が出席。
- 11月8日、(財)徳川記念財団夏目琢史氏が展示替えに来館。
- 11月17日～18日、静岡市美術館学芸係長吉田恵理氏・NHKプロモーション加藤元章氏が出品資料の搬出に来館。
- 11月18日、江戸東京博物館学芸員斎藤慎一氏・NHKプロモーション品川和彦氏が出品資料の搬出に来館。
- 11月19日、静岡市文化財資料館長若杉守氏が出品資料の返却に来館。
- 11月24日、(財)徳川記念財団学芸部長柳田直美氏・江戸東京博物館学芸員大橋菜都子氏が出品資料の返却に来館。
- 11月25日、川越市立博物館学芸員井口信久氏が出品資料の返却に来館。

- 12月5日、彦根城博物館学芸員野田浩子・青木俊郎両氏が出品資料の返却に来館。
- 12月7日及30日、「家康と慶喜―徳川家と静岡」展の飾付けに小林学芸部長が静岡市美術館へ出向。
- 12月10日、同上展の開催式に小林学芸部長が出席。
- 12月23日、中日新聞静岡総局記者蜘蛛美鶴氏が重文洋時計の取材に来館。
- 1月11日、静岡市美術館学芸員大石沙織氏が出品資料の搬出に来館。
同日、小林学芸部長が同館の特別展の展示替えに出向。
- 1月21日、(財)徳川記念財団学芸部長柳田直美氏が展示替えに来館。同日、防火訓練を実施。
- 1月31日、「家康と慶喜―徳川家と静岡」展の資料撤収に小林学芸部長が静岡市美術館へ出向。
- 2月7日、静岡市美術館学芸係長吉田恵理氏・NHKプロモーション加藤元章氏が出品資料の返却に来館。
- 2月16日、(株)カラーズプランニング編集制作主任桑野佐恵子氏が重文洋時計・目器の撮影に来館。
- 2月18日、静岡市経営管理局広報課副主幹良知満晴氏が東照大権現像の撮影に来館。
- 3月8日、江戸東京博物館学芸員斎藤慎一氏・NHKプロモーション展博事業部副部長古村航太氏が出品資料の返却に来館。
- 3月9日、静岡市文化財審議会(於 清見寺)に小林学芸部長が出席。
- 3月22日、東京芸術大学美術館原田一敏氏が出品資料の搬出に来館。
- 3月25日、(財)徳川記念財団原田知佳氏が展示替えに来館。
- 3月31日、伊藤雅子書記が退職。
- その他、この期間に下記の方々が来館した。
 鵜田孝一氏(艸藝社取締役、4月17日、8月4日、9月22日及1月14日)、興津昭夫氏、佐藤任宏氏(柳営会、4月17日)、木村泰子氏(静岡県教育委員会文化財保護課長、4月17日)、多々良典秀氏(静岡市文化財課、4月17日及1月10日)、田中文雄氏(元静岡県立美術館学芸員、4月29日及1月14日)、大村智基氏(常葉美術館、4月29日)、水野茂氏(静岡古城研究会、4月29日)、清涼院庵主一行(5月10日)、古賀左和野氏(静岡市経済局主査、5月18日)、木村ともえ氏(JTBクリエイションセールスチーフ、5月18日)、大橋菜都子氏(江戸東京博物館学芸員、5月19日)、島裕史氏(島左近子孫、5月30日)、熱田仲道氏(日本甲冑武具研究会理事、7月8日)、竹内康真氏(東海テレビ放送ディレクター、7月22日及25日)、竹本春二氏(カメラマン、8月4日)、柳沢保徳氏・とも子氏(大和郡山藩主柳沢家当主夫妻、8月11日)、町田智子氏、堀越礼子氏、八巻直史氏(朝日新聞社企画事業本部、10月12日)、堀内義幸氏(静岡朝日テレビ、10月12日)、渡辺弘氏(静岡社会保険センター浜松、10月13日及15日)、谷直樹氏(大阪市立大学教授、10月17日)、植松清志氏(大阪人間科学大学教授、10月17日)、京極寛氏(京極スタジオ、10月17日)、大竹弘高氏(國學院大學博物館学研究室、10月31日)、本多隆成氏(放送大学長、11月2日)、井口信久氏(川越市立博物館学芸員、12月26日)、徳川斉正氏・眞木氏(勸水府明德会会長夫妻、1月3日)、天野忍氏(常葉大学教授、1月3日)、新田実氏(元静岡県史編さん室、

1月8日)、伊藤彰氏(長田図書館長、1月10日)、増田幸雄氏(浜松市美術館長、1月14日、3月4日及30日)、辰巳均氏(浜松市文化財課長、1月14日)、佐野一夫氏(浜松市文化財課、1月14日) S B S 学苑一行(1月14日及19日)、近藤克彦氏(徳川宗家執事、1月16日)、NHK 文化センター一行(1月19日)、原田知佳氏(財徳川記念財団、1月21日)、竹内礼子氏(駿府静岡歴史楽会、2月23日) 佐々木幹夫氏(クラブタップコーディネーター、2月23日)、川西亜紀子氏(浜松市美術館学芸員、3月4日及30日)

平成 23 年度

館 内 業 務

1. 平常展

○会期＝平成 23 年 4 月 1 日～9 月 30 日

「館蔵の優品」展と題し、重文徳川家康遺品と武具・書画等の館蔵の秀作に(財)徳川記念財団の書画を加え、100 余点を展示。

○会期＝平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

「久能山東照宮の美術工芸品」展と題し、館蔵品に(財)徳川記念財団の優品を加え、展示。

2. 刀剣鑑賞会の実施

○平成 23 年 5 月 28 日、徳川家広氏（宗家令息）の依頼により館蔵の刀剣鑑賞会を実施。参加者徳川家広氏・調所一郎氏（広郷子孫）・三品謙二氏・アンドレイ・ステパノフ氏・アンドレイ・モロゾフ氏。

○平成 23 年 11 月 20 日、熱田神宮宝物館の依頼により、館蔵の刀剣のうち、重文太刀三池・脇指行光等 6 口の特別鑑賞会を実施。

館 外 業 務

1. 資料の出品

○「香りーかぐわしき名宝ー」展

会期・平成 23 年 4 月 7 日～5 月 29 日

会場・東京芸術大学大学美術館

重文伽羅を出品。

○NHK 大河ドラマ特別展「江ー姫たちの戦国ー」

①会期・平成 23 年 4 月 22 日～5 月 29 日

会場・福井県立美術館

②会期・平成 23 年 7 月 23 日～8 月 31 日

会場・長浜城歴史博物館

茶絲威具足（徳川秀忠所用）・薙刀国宗（朝日姫所用）を出品。

○「大阿部家ーその流れと武家文化の粹ー」展

会期・平成 23 年 10 月 8 日～11 月 27 日

会場・福山城博物館

徳川家康自筆判金請取状・大黒銀覚書・徳川秀忠書状 2 通、徳川家光筆和歌懷紙・「枯木梟図」を出品。

○「武門の絆—徳川将軍家と井伊家—」展

会期・平成23年10月28日～11月27日

会場・彦根城博物館

重文歯朶具足・火縄銃・洋時計・黒柿硯箱・青磁鉢、貫衆具足・胴着を出品。

○特別展「戦国の覇者徳川家康と浜松」

会期・平成23年12月3日～平成24年1月9日

会場・浜松市美術館

重文金泥三枚張頭形兜・鞍・火縄銃・和剂局方、国宝太刀真恒等28件を出品。

○特別展「神社のはじまり—社寺縁起・由緒とゆかりの宝物—」

会期・平成24年1月1日～1月24日

会場・熱田神宮宝物館

重文冠・浅沓・口宣案・位記案・脇指貞宗、後水尾天皇宣旨、太政官符、東照大権現像を出品。

○特別展「当世具足—大名とその家臣団の備え—」

会期・平成24年2月4日～3月25日

会場・板橋区立郷土資料館

白絲威具足（徳川家宣所用）を出品。

○特別展「肖像画の魅力—歴史を見つめた眼差し—」

会期・平成24年2月11日～3月20日

会場・茨城県立歴史館

徳川慶喜像と徳川慶喜・家達像（ともに油彩）を出品。

2. 「戦国の覇者徳川家康と浜松」展企画会議

期日・平成23年4月22日、6月10日及9月13日

会場・浜松市美術館

浜松市制100周年記念展の企画会議が開催され、小林学芸部長が出席。

3. 静岡県博物館協会総会

期日・平成23年6月2日

会場・静岡県立美術館

平成23年度総会が開催され、落合館長が出席。

4. 日本博物館協会評議員会

期日・平成23年6月14日

会場・商工会館

平成23年度評議員会が開催され、館長代理で斎藤学芸員が出席。

5. 全国博物館館長会議

期日・平成23年6月15日

会場・文部科学省講堂

平成23年度館長会議が開催され、館長代理で小林学芸部長が出席。

6. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・平成23年7月22日

会場・高山市

平成23年度総会が開催され、斎藤学芸員が出席。

7. 大名道具収蔵館研究会

期日・平成23年10月4日

会場・徳川美術館

第 18 回研究会が開催され、小林学芸部長が出席。

8. 全国博物館大会

期日・平成23年10月19日～21日

会場・金沢市

第 59 回大会が開催され、斎藤学芸員が出席。

9. 「徳川将軍家と島津家」展企画会議

期日・平成23年12月13日及平成24年3月29日

会場・東京財徳川記念財団事務所

黎明館主催特別展の企画会議が開催され、小林学芸部長が出席。

庶務報告

1. 平成23年度入館者状況

区分 月	大 人	小 人	団 体	ロープウェイ と共通	クーポン	無 料	計
4 月	3,096	277	1,619	1,408	23	5	6,428
5 月	4,447	271	3,186	2,512	46	24	10,486
6 月	2,256	88	1,792	1,417	9	8	5,570
7 月	1,157	145	799	158			2,259
8 月	3,709	886	820	1,544	14	1	6,974
9 月	3,362	169	1,671	1,545	32		6,779
10 月	4,738	225	2,989	2,322			10,274
11 月	5,307	258	2,148	2,452	27	4	10,196
12 月	3,324	288	1,038	1,202	16	22	5,890
1 月	5,693	599	1,824	2,500	8	15	10,639
2 月	2,983	181	1,531	1,234	27	5	5,961
3 月	3,740	373	1,830	1,635	49	12	7,639
計	43,812	3,760	21,247	19,929	251	96	89,095

2. その他

- 4月13日、江戸東京博物館斎藤慎一氏、福井県立美術館戸田浩之氏、長浜城歴史博物館太田浩司氏が出品資料の搬出に来館。
- 4月17日、名城大学名誉教授奥田潤氏、静岡理工科大学準教授桐原正之氏が重文薬事資料の件で来館。
- 5月4日、館内の温度を23℃に変更。
- 5月5日、子供の日にあたり、父兄同伴の子供を無料とした。
- 5月29日、彦根城博物館学芸員野田浩子氏が出品依頼に来館。
- 6月3日、(財)徳川記念財団柳田直美、中野晶子両氏が展示替えに来館。
- 6月6日、東京芸術大学大学美術館原田一敏氏、日本経済新聞社梶島裕一氏が出品資料の返却に来館。
- 6月9日及12月13日、能美防災が館内を点検。
- 6月14日、三建設が空調機を修理。
- 6月21日、三井住友建設が保存室を視察。
- 6月25日～26日、和時計研究家澤田平氏が藤原義久氏と重文洋時計の特別拝観に来館。
- 6月26日、静岡朝日テレビ報道制作局長渡辺一史氏・同専任局長石井徹也氏等が重文洋時計の撮影に来館。
- 6月27日～7月26日、日本平ロープウェイ運休。

- 7月13日、小林学芸部長が「戦国の覇者徳川家康と浜松」展の用件で京都へ出向。
- 7月14日、朝日新聞社文化事業部長上村義夫氏・静岡朝日テレビ常務取締役鈴木修一郎氏等が甲冑の特別拝観に来館。
- 7月21日、静岡第一テレビ報道局堀田勝彦氏が重文洋時計の取材・撮影に来館。
- 8月1日、茨城県立歴史館主任研究員原口知武氏が資料の出品依頼に来館。同日、(勅徳川記念財団柳田直美・中野晶子両氏が展示替えに来館。
- 8月5日、静岡大学教授湯之上隆氏等が久能山関係資料調査の件で来館。
- 8月16日、文化庁文化財調査官伊東哲夫氏が文化財保存管理視察のため、来館。同日、ネクサス堀田陽介・阿部風太両氏がテレビ取材の打ち合せに来館。
- 8月20日～21日、ネクサスがテレビ番組の取材・撮影に来館。
- 8月24日、三井住友建設が保存室を再点検。
- 9月15日、江戸東京博物館斎藤慎一氏・NHKプロモーション古村航太氏が出品資料の返却に来館。
- 9月29日、福山城博物館長鐘尾光世氏が出品資料の搬出に来館。
- 10月1日、静岡市観光課（主査古賀左和野氏）の依頼による台湾テレビが重文洋時計・目器の取材・撮影に来館。
- 10月7日、室内の温度を 20℃ に変更。
- 10月19日、彦根城博物館の高木文恵・青木俊郎両氏が出品資料の搬出に来館。
- 10月31日、静岡市文化財審議会（於札ノ辻会館）に小林学芸部長が出席。
- 11月1日、博物館の開館時間を午前8時30分～午後5時とする。
- 11月8日、(勅徳川記念財団柳田直美氏・浜松市博物館久野正博氏・浜松市美術館川西亜紀子氏が特別展の用件で来館。
- 11月9日、板橋区立郷土資料館館長小西雅徳氏が特別展の出品願いに来館。
- 11月14日、「戦国の覇者徳川家康と浜松」展の資料借用のため、小林学芸部長が、京都の建勲神社・久昌院・南明院へ出向。
- 11月16日、彦根城博物館の野田浩子・青木俊郎両氏が出品資料の返却に来館。
- 11月17日、富士テレビ制作部杉山茂氏が資料の取材・撮影に来館。
- 11月21日、「戦国の覇者徳川家康と浜松」展の資料借用のため、小林学芸部長が、三河武士のやかた家康館へ出向。
- 11月25日～26日、浜松市博物館久野正博氏・(勅徳川記念財団中野晶子氏が出品資料の搬出に来館。中野氏は26日、財団の展示替えも行った。
- 11月29・30日及12月2日、小林学芸部長が浜松市美術館へ出品資料の飾付けに出向。
- 12月3日、特別展「戦国の覇者徳川家康と浜松」（於浜松市美術館）の開催式に小林学芸部長が出席。
- 12月6日、福山城博物館長鐘尾光世氏が出品資料の返却に来館。。
- 12月8日、彦根城博物館の高木文恵・青木俊郎両氏が出品資料の返却に来館。
- 12月12日、熱田神宮宝物館の奥山哲也・内田雅之両氏が出品資料の搬出に来館。

- 12月15日、西日本新聞営業部課長補佐後藤太志氏他契舟展関係者3名が来館。
- 12月18日、静岡第一テレビ記者が来館。
- 12月19日、「戦国の覇者徳川家康と浜松」展の展示替えに小林学芸部長が浜松市美術館へ出向。
- 12月23日、静岡第一テレビが取材・撮影に来館。
- 1月10日～11日、「戦国の覇者徳川家康と浜松」展の資料撤収のため小林学芸部長が浜松市美術館へ出向。
- 1月23日～24日、浜松市博物館久野正博氏・浜松市美術館川西亜紀子氏が出品資料の返却に来館。
- 1月25日、板橋区立郷土資料館長小西雅徳氏が出品資料の搬出に来館。
- 1月27日、(財)徳川記念財団の中野晶子氏が展示替えに来館。
- 2月2日、熱田神宮宝物館の奥山哲也・内田雅之両氏が出品資料の返却に来館。
- 2月3日、茨城県立歴史館原口知武氏が出品資料の搬出に来館。(尚、同氏は3月24日、資料の返却にも来館)。
- 2月20日、小林学芸部長が出品資料の飾付けのため、板橋区立郷土資料館へ出向。
- 2月28日、静岡市文化財審議会(於鉄舟寺・御穂神社・大安寺)に小林学芸部長が出席。
- 3月23日、(財)徳川記念財団の柳田直美・中野晶子両氏が展示替えに来館。
- その他、この期間に下記の方々が来館した。

川嶋秀和氏(静岡市文化振興財団、4月6日及5月16日)、柳田恭一氏(静岡市文化振興財団、4月6日及5月16日)、柳田恭一氏(静岡県文化財保護課長、4月17日)、中村正史氏(静岡市文化財課長、4月17日)、多々良典秀氏(静岡市文化財課、4月17日、8月5日・16日、9月27日・29日、10月21日、11月1日・17日)、正木伸一郎氏(柳営会理事、4月17日)、鵜田孝一氏(紳藝社取締役、4月17日及8月28日)、一圓直毅氏(東芝キャリアKK参事、4月17日)、四ノ宮尹氏(弥次喜多の会会長、4月17日)、瀧上清隆氏(京都便利堂営業本部課長、4月21日)、繁原央氏(常葉学園短期大教授、4月30日)、平川義浩氏(日本絵葉書会、4月30日)、塚本幹夫氏(三井住友建設、6月2日)、山澤学氏(筑波大学准教授、6月3日)、間宮康文氏(エスピーエスたくみ顧問、6月13日)、藤田美希氏(静岡雙葉高教諭、7月9日)、山田いず美氏(静岡朝日テレビ事業部長、7月14日)、海野貴子氏(静岡市経済局主事、7月27日)、陳佩君氏(台湾電租事業新聞部、7月27日)、澤田平氏(和時計研究家、8月21日)、デービッド・アトキンソン氏(小西美術社長、9月5日)、磯部京子氏・田中宏樹氏(静岡博報堂、9月8日)、大高康正氏・岡村龍男氏・花村友紀氏(静岡市文化財課、9月27日)、長島浩章氏(静岡鉄道課長、11月1日)、藤田敦氏(静岡市広報課、11月12日・17日・25日及12月14日)、佐竹俊郎氏・福井款彦氏・内田雅之氏等20名(熱田神宮宝物館、11月20日)、斎藤見遙氏(耀海寺住職、12月8日)、渥美氏他8名(島田市博物館、12月17日)、井口信久氏(川越市立博物館学芸員、12月31日)、松村俊幸氏・前田浩義氏・小林鉄弥氏・辰巳均氏((株)フジヤマ静岡支店・2月8日)、黒沢脩氏(元静岡市教育委員会、2月10日)、曾根正弘氏(テレビ静岡取締役相談役、2月10日)竹内礼子氏(駿府静岡歴史楽会、2月17日)

平成 24 年度（但し 4 月～12 月）

館 内 業 務

1. 平常展

○会期＝平成24年4月1日～9月30日

「久能山東照宮博物館の優品」展と題し、館蔵の優品に勸徳川徳川記念財団の蔵品を加え展示。適宜展示替え。

○会期＝平成24年10月1日～12月31日

「久能山東照宮の文化財」展と題し、伝世品を中心に（勸徳川記念財団の名品を加え展示、適宜展示替え。

2. 重文洋時計の調査

○平成 24 年 5 月 16 日～17 日、大英博物館のデービット・トンプソン氏に依頼し、重文洋時計の分解調査を実施。

館 外 業 務

1. 「徳川将軍家と島津家」展企画会議

期日・平成24年5月24日

会場・東京・勸徳川記念財団事務所

黎明館主催特別展の企画会議が開催され、小林学芸部長が出席。

2. 資料の出品

○「二条城」展

会期・平成24年7月28日～9月23日

会場・江戸東京博物館

徳川慶喜像・軍帽・筒袖陣羽織を出品。

○特別展「徳川将軍家と島津家―名宝と海に生きる薩摩―」展

会期・平成24年9月29日～11月4日

会場・鹿児島県歴史資料センター黎明館

重文太刀三池・菌朶具足・洋時計・鉛筆・国宝太刀真恒等61件を出品。

○「徳川家康の肖像―江戸時代の人々の家康観―」展

会期・平成24年10月6日～11月25日

会場・江戸東京博物館

後水尾天皇宸翰神号・東照大権現像・重文御神宝装束等13件を出品。

○「浜松城主堀尾吉晴」展

会期・平成24年10月20日～11月25日

会場・浜松市博物館

東照大権現像(天海賛写)を出品。

3. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・平成24年7月18日

会場・静岡県立美術館

平成24年度総会が開催され、落合館長・斎藤学芸主任が出席。

4. 大名道具収蔵館研究会

期日・平成24年11月5日

会場・彦根城博物館

第19回研究会が開催され、小林学芸部長が出席。

庶務報告

1. 平成24年度(4月～12月)入館者状況

区分 月	大人	小人	団体	ロープウェイ と共通	クーポン	無料	計
4月	4,170	358	1,468	1,834	26	7	7,863
5月	6,888	410	2,179	2,530	27	78	12,112
6月	4,207	149	1,735	1,353	1	17	7,462
7月	3,017	215	1,441	1,335	7		6,015
8月	4,414	964	1,501	1,896	4		8,779
9月	2,992	128	1,495	1,318	6	66	6,005
10月	4,043	179	2,220	1,970	20		8,432
11月	4,007	210	1,649	2,199	67		8,132
12月	2,280	192	823	775	12		4,082
計	36,018	2,805	14,511	15,210	170	168	68,882

2. その他

○4月2日及27日、板橋区立郷土資料館館長小西雅徳氏が出品資料の返却に来館。

○4月10日、摂南大学名誉教授上島有氏・京都府立大学准教授上島享氏が当館の徳川將軍家判物調査に来館。

○4月25日、前宮内庁書陵部鈴木真弓氏・(財)徳川記念財団研究員田中潤氏が当館の御神宝装束調査に来館。

○5月9日・10日・14日、テレビ静岡・静岡放送・静岡第一テレビが重文洋時計の取材・撮影に来館。

- 5月25日・7月30日及9月21日、(財)徳川記念財団中野晶子氏が展示替えに来館。
- 5月28日～29日、甲冑師三浦公法氏が写形菌朶具足の調査に来館。
- 6月7日、浜松市博物館久野正博氏が資料の出品依頼に来館。
- 6月20日及12月12日、能美防災が館内を点検。
- 6月21日、SBSラジオ杉本佳代氏が重文洋時計の取材に来館。
- 7月12日、江戸東京博物館学芸員斎藤慎一氏・読売新聞東京本社事業局大澤美祐子氏が出品資料の搬出に来館。
- 7月26日、三井住友建設がクーラーを点検。
- 8月1日、姫岡権宮司を副館長兼任とする。
- 8月8日及17日、NHK佐賀放送局ディレクター伊藤実佳子氏が取材の打合せに来館。
- 8月9日、博物館会議に斎藤学芸主任が出席。
- 8月17日、NHKが重文洋時計を取材・撮影。
- 8月29日、鹿児島県歴史資料センター黎明館徳永和喜氏が特別展への協力と出品依頼に来館。
- 8月30日、江戸東京博物館学芸員斎藤慎一氏・読売新聞東京本社文化事業部半田行宏氏が出品資料の返却に来館。
- 9月8日、NHK大阪放送局制作ディレクター長谷川明氏が和宮戯画の取材・撮影に来館。
- 9月10日～12日、鹿児島県歴史資料センター黎明館徳永和喜氏が出品資料の搬出に来館。
- 9月26日、(財)徳川記念財団学芸部長柳田直美氏が出品資料の搬出に来館。同日、歌手の湯原昌幸夫妻がSBSテレビの番組で来館。
- 9月27日～29日、小林学芸部長が「徳川将軍家と島津家」展の飾付けに鹿児島県歴史資料センター黎明館へ出向。
- 9月29日、同上展の開催式に落合館長が出席。
- 10月3日、東京成徳大学講師藤井和夫氏が朝鮮資料の調査に来館。
- 10月5日、犬山市文化史料館再開館式に斎藤学芸主任が出席。
- 10月6日、浜松市博物館久野正博氏が出品資料の搬出に来館（尚、久野氏は12月13日、資料の返却にも来館）。
- 10月12日～14日、小林学芸部長が特別展の展示替えとシンポジウムのため鹿児島県歴史資料センター黎明館へ出向。
- 10月16日、黎明館学芸専門員徳永和喜氏が重文洋時計の返却に来館。
- 10月23日、静岡県文化財団関川麻紀子・日下智紀の両氏が資料の出品依頼に来館。
- 10月30日～31日、甲冑研究家宮崎隆旨氏が写形菌朶具足の調査に来館。
- 11月2日、戸定歴史館斎藤洋一氏・静岡市美術館吉田恵理氏が特別展の件で来館。
- 11月6日～8日、小林学芸部長が「徳川将軍家と島津家」展の撤収のため鹿児島県歴史資料センター黎明館へ出向。
- 11月14日～15日、黎明館学芸専門員徳永和喜氏が出品資料の返却に来館。
- 11月19日にNHK静岡放送、24日・25日にSBS静岡放送が重文洋時計の取材・撮影に来館。

○11月30日、(財)徳川記念財団の柳田直美・杉山哲司両氏が展示替えに来館。

○12月8日、江戸東京博物館真下祥幸氏が出品資料の返却に来館。

○その外、この期間に下記の方々が来館した。

加茂喜胤氏(東照宮旧職員、4月12日)、徳川家広氏(徳川宗家令息、4月17日)、鵜田孝一氏(艸藝社取締役、4月17日及8月26日)、間宮康文氏(エスピーエスたくみ代表取締役、4月17日)、多々良典秀氏(静岡市文化財課、4月27日及5月14日)、廣井順二氏、築瀬哲也氏(日本美術刀剣保存協会長崎支部、5月5日)、岩井勝彦氏(東照宮旧職員、5月9日)、平野義雄氏(能美防災静岡支社長、6月11日)、長倉信裕氏(日蓮正宗教学研鑽所、6月14日)、白相至氏(県消防設備協会、6月20日)、川原田耕氏(作家、6月23日)、金原宏行氏(常葉美術館長、7月1日)、県文化財保存協会西部地区会員(7月21日・22日)、山田亜男氏(浜松観光ボランティアガイドの会、7月22日)、小西雅徳氏(板橋区立郷土資料館館長、7月25日)、村井章介氏(東京大学大学院教授、8月17日)、井汲章氏(NHKプロモーション展博事業部副部長、8月30日)、新井達也氏(静岡県文化財団、10月5日)、田中豊稲氏・吉田恵理氏(静岡市美術館、10月30日・31日)、小野田光利氏(静岡朝日テレビ、10月30日・31日)、河合明子氏(NHKエンタープライズプロデューサー、11月3日)、乾英里子氏(NHK静岡放送局ディレクター、11月13日及24日)、グランシップ静岡の文化体感ツアー一行(12月1日)、井口信久氏(川越市立博物館、12月31日)。



前立物（重文 齒朶具足のうち）



大黒頭巾形兜（重文 齒朶具足のうち）

久能山東照宮博物館報
—— 第 22 号 ——
平成25年3月17日 発行
編集発行 久能山東照宮博物館
〒422-8011 静岡市駿河区根古屋390
TEL.054(237)2437

印刷 有限会社艸藝社
〒104-0041 中央区新富1-15-14
TEL.03(5540)6421